

模擬テスト 1

問題 1 ① 暗清色の→暗清色で中彩度の

解答 (解答例), dp22,dp18,dkg22,dkg18 → 削除

<解説> 暗清色の dk トーン→暗清色の中彩度の dk トーン
dkg トーンまたは dp トーン→削除

問題 2 ① <解説> 後に追加 → 明度を段階的に変化させる必要があるため明度差は一定であること。

問題 5 (2) 中差色相配色とする→中差色相配色で、寒色系とする

模擬テスト 2

問題 5

<解説>追加

- ① バーミリオンは鮮やかな黄赤で v 3 が近似色。
色相番号 3 はマンセル表色系では色相 7 R。
v 3 は明度 5. 0 でマンセル表色系でも同じ 5. 0。
マンセル表色系は色相によって最高彩度が異なるが、v トーンの最高彩度は 1 4. 0、
最低彩度は 1 0. 0 で全て 1 0. 0 以上。
色相番号から「エ」か「カ」にしばられるが、明度、彩度が近いのは「カ」。
- ② 江戸紫は濃い青みの紫で d p 2 0、d p 2 2、d 2 0 が近似色。
色相番号 2 0 はマンセル表色系では色相 9 P B、色相番号 2 2 は色相 7 P。
d p 2 0、d p 2 2 は明度 2. 5、d 2 0 は明度 3. 5。
選択肢の中では、色相番号のみで「ア」にしばられるが、明度も近似している。
- ③ カーキーはくすんだ赤みの黄で d 6、d 8、d k 8 が近似色。
色相番号 6 はマンセル表色系では色相 8 Y R、色相番号 8 は色相 5 Y。
d 6 は明度 5. 5、d 8 は明度 6. 0、d k 8 は明度、4. 0。
選択肢の中では、色相番号のみで「ウ」にしばられるが、明度も近似している。
- ④ 納戸色は強い緑みの青で d 1 6 が近似色。
色相番号 1 6 はマンセル表色系では色相 5 B。
d p 1 6 は明度 3. 0。
選択肢の中では、色相番号のみで「イ」にしばられるが、明度も近似している。
- ⑤ ピーコックグリーンは鮮やかな青緑。v 1 4、v 1 5 が近似色。
色相番号 1 4 はマンセル表色系では色相 5 B G、色相番号 1 5 は色相 1 0 B G。
v 1 4 は明度 4. 5、v 1 5 は明度 4. 0。
選択肢の中では、色相番号のみで「オ」にしばられるが、明度も近似している。
- ⑥ 弁柄色は暗い黄みの赤。d k 4 が近似色。
色相番号 4 はマンセル表色系では色相 1 0 R。
d k 4 は明度 3. 0。
マンセル表色系は色相によって最高彩度が異なるが、d k トーンの最高彩度は 6. 0、
最低彩度は 4. 5。
色相番号から「エ」か「カ」にしばられるが、明度、彩度が近いのは「エ」。

模擬 6

問題 3 ① 明度を→明度と色相を

解答 lt14+

問題 4 ① 類似トーンの→ 類似トーンで、同一彩度の

解答 (解答例)→削除、 解答は、 sf16 又は dk12

⑧ 色を使った→色をアクセントカラーとした明清色の

解答 (解答例)→削除、 解答は、色相 8、12 を使用し、p、lt、b トーンであれば正解

模擬 8

- 問題 5 ⑨ 浅く澄んだ色を使った→藤色を使った、浅く澄んだ
解答 解答例→削除。 lt20+、W、lt12+、BK、lt4+
＜解説＞ 頭に追加→藤色は lt20+。

模擬 11

- 問題 2 [B] ① 解答追加→又は、p20+、lt20+、b20
＜解説＞解説後に追加→有彩色は彩度グラデーションでも縁辺対比が起こるため p、lt、b の 3 色も正解。
- 問題 3 ⑥ 問題文後ろに追加→有彩色は明度 8.0 とする
(解答例)と解答→削除。
解答 v8、W、p16+、BK、p24+
＜解説＞有彩色はトライアド配色に…。→有彩色は明度 8.0 でトライアド配色を選択する。
- ⑦ 問題修正→彩度 8S で、中明度の色相を使ったヘクサード配色
(解答例)と解答→削除。
解答 b4、dp8、b12、b16、b20、b24 又は b2、dp6、dp10、b14、b18、b22
＜解説＞高彩度の…である。→彩度 8S (b、dp)で、中明度(6.5~4.5)で、

模擬 12

- 問題 1 ⑤ 解答 (解答例)→削除
問題 7 A)明度が高い色とし→明度が高く
明度が低い色に→明度が低く

模擬 13

- 問題 4 (a) ③ 暗い→ごく暗い
(b) ④ (isochromes) → 等純系列(isochromes)
⑥ <解説> 追加→無彩色と有彩色で調和させるためには、等黒系列か等白系列で配色することになる。
Gy・8.0 は、明るい無彩色なので、トーンは Gy、ltg、sf の等黒系列となる。色相は有彩色 2 つが
同じ色相で明度差が同じであればよい。
- 解説図に追加→ [注] iso は英語で「等しい」を意味する

模擬 14

- 問題 1 ⑧ 問題修正→dp12 をアクセントカラーとし、明度差、彩度差共に最大となるフォカマイユ配色を使った
3 色配色
- 解答 (解答例)→削除 解答追加→又は、p8+、ltg10
＜解説＞→アクセントカラーに dp12 は、低明度、高彩度なので高明度、低彩度のトーンでフォカマイユ
配色を作成する

- 問題 2 問題説明最後に追加 → ①②④は、それぞれの効果が最大になるように配色すること
④ 明度→明度差

解答 (解答例)→削除
③⑤⑥(解答例)追加

＜解説＞②少ない場合→ほとんどない場合
後に追加→(同明度を選ぶのが無難)

- 問題 3 イ. 空色→薄い青
④ 解答 p16+
＜解説＞ 近く感じるが…を選択できる。→ 近く感じるので p+を選択できる。

- 問題 6 ①中性色のトータル配色→中彩度、低明度の中性色のトータル配色
②バイカラー配色 → 安全色の防火に相当する色と対比色のバイカラー配色

解答 (解答例)→削除

①地色、柄色は、**d20,22,24** のどれか

② (地色)V3 (柄色)W

<解説>これらの中から選択すれば正解。→ 削除

- 問題 7 (a) <解説> 頭に追加→ブルー系は緑みの青(16:gB)~紫みの青(19:pB)。

模擬 15

- 問題 3 ④ 解答追加→又は、**dk2,dk4,dk16,dk24** のうち 3 色
<解説>同じ明度となるのは…。 → 同じ明度となる色を選択。

模擬 16

- 問題 1 ② 問題修正→アクセントカラーV6の対照色相で彩度差明度差ともに 最大の中性色を使った 3 色配色。
解答 → **dkg20,dkg22**
<解説>8~10 となり→ 8~10、よって色相は 14,16,20,22。その内、中性色を選択。

- ③ 問題修正→明清色で明度差 1.0、色相差 2、彩度差 2s のコンプレックス配色

解答 → **lt20+,b18** 又は **lt20+,b22**

<解説> → いずれかでコンプレックス配色になっていれば正解。→

いずれかで条件を満たしコンプレックス配色になっている色を選択する

- ⑦ <解説>1 色→2 色

- ⑧ 問題頭に追加→ 琥珀色を含む明度差 1.5 の

解答 → **p6+,sf6,d6,p6+,sf6,d6**